

ガウディ没後 100 年に合わせ産学官連携プロジェクトを展開

ガウディの創造的な窓を学ぶ展覧会「ガウディ：未来をひらく窓」をスペインと日本で主催

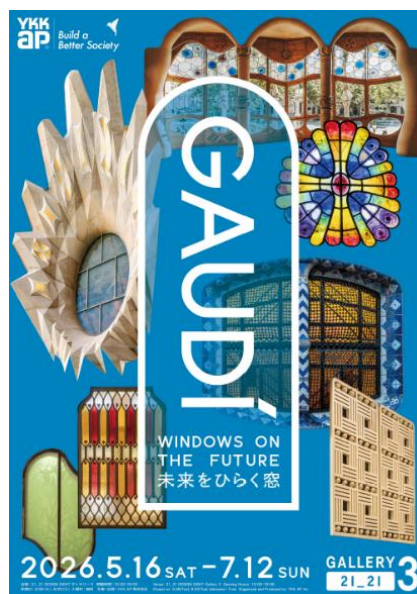
4～10 月にバルセロナの世界遺産ガウディ建築内と 5～7 月に東京で開催

YKK AP 株式会社（本社：東京都千代田区、社長：魚津 彰）は、アントニ・ガウディの没後 100 年を記念し、スペイン・カタルーニャ自治政府とガウディ建築群が進める記念行事「ガウディ・イヤー」や、国際的な建築イベント「UNESCO-UIA 世界建築首都（※1）」、「UIA 世界建築家会議（※2）」が開催される 2026 年のタイミングに、ガウディ建築群とのコラボレーションのもと創造的で革新的な「ガウディの窓」の魅力を伝える展覧会をバルセロナと東京で主催します。2025 年 4 月の YKK AP ヨーロッパ社の設立も踏まえて、世界の建築文化に貢献するための産学官連携プロジェクトとして、ガウディの開口部に関する研究や知見を包括的に発信します。

スペイン・バルセロナでは、ユネスコ世界遺産に登録されたガウディ建築「パラウ・グエル（グエル邸）（※3）」の館内にて 4 月 21 日（火）～10 月 25 日（日）まで YKK AP が企画する展覧会を主催します。また、スペイン国内に点在する世界遺産を含む各ガウディ建築内で、ガウディの窓に関するポップアップ展示やドキュメンタリー映像の上映、書籍発売を実施します。日本では、同コンセプトのサテライト展を 5 月 16 日（土）から 7 月 12 日（日）まで、六本木エリアにある 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー 3（東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン）にて開催します。



バルセロナ展メインビジュアル



東京展メインビジュアル

特設サイト：<https://www.ykkapglobal.com/ja/satellite/window-future/gaudi/>
ドキュメンタリー映像（※4）：<https://youtu.be/IdDZtN3l7mQ>

YKK AP は「Architectural Products で社会を幸せにする会社。」というパーパスに基づき、窓などの建築パーツが人々の生活をより幸せにすることを目指し、窓を考え、事業のための研究開発に加えて、建築文化に貢献すべく、多角的な知見の収集や発信を継続的に行っています。本プロジェクトは、YKK AP がこれまでに収集したガウディの窓に関する知見や研究成果、共同研究の一部などをスペインと日本で展覧会やドキュメンタリー映像、書籍、関連イベントを通して紹介し、参加者とともにガウディの豊かな窓の世界を多角的に学び、未来の窓について考える産学官連携プロジェクトです。

スペインではバルセロナの中心に位置するユネスコ世界遺産のガウディ建築「パラウ・グエル（グエル邸）」の全館を通して、本プロジェクトのメイン展覧会「ガウディ：未来をひらく窓」を開催します。ガウディ建築で使用されていた建具・ステンドグラスや、ガウディ建築の窓に関する模型・図面などを展示します。また、ガウディ建築で使われている窓や取っ手の模型展示のコーナーでは、実際に手で触れていただくことも可能です。その他、様々な研究者や専門家の調査研究の一部や、ドキュメンタリー映像などを通して、創造的で革新的なガウディの窓の魅力を多角的に紹介します。また、YKK AP と東京工芸大学の山村健研究室が取り組んできた、ガウディの窓のデザインの変遷や系譜に関する共同研究、日本とスペインの建築学生・大学院生がガウディの窓をテーマに協働した国際デザインワークショップの成果の一部を初公開します。

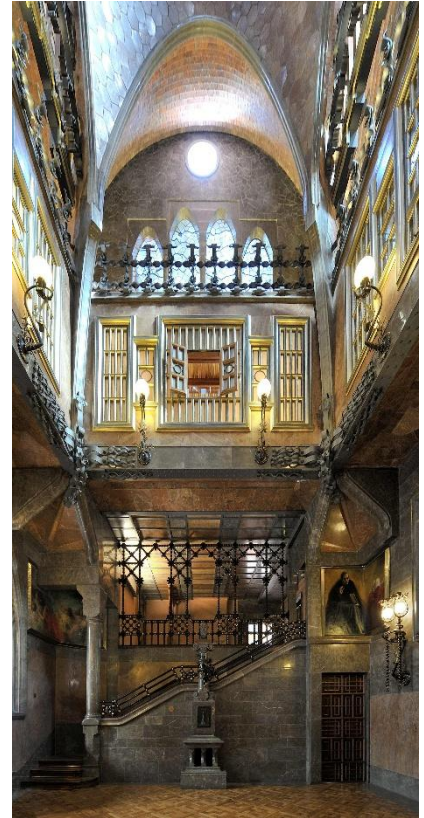
さらに、6月1日（月）～30日（火）の期間中は、ユネスコ世界遺産「カサ・バトリョ」（※5）にて“YKK AP x Casa Batlló Gaudí Windows Nights”と題した入場無料イベントも実施します。

本プロジェクトは、「ガウディ・イヤー」や「UNESCO-UIA 世界建築首都」、日本とスペイン・カタルーニャ自治州の文化交流を記念した「日本・カタルーニャ交流年」の公式プログラムとしても登録されており、現地バルセロナから世界に向けて発信されます。



©Pere Vivas / Triangle Books

関連展示・イベントを行う「カサ・バトリョ」の特徴的な窓



©Palau Güell – Diputació de Barcelona

メイン展覧会開催場所「パラウ・グエル」の内観

東京のサテライト展では、バルセロナの展覧会と同じコンセプトを保ちつつ、デザイン発信や提案を行う場である「21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー3」の空間を生かした独自の展示構成で開催。今回 3 回目となる建築イベント「東京建築祭 2026」にも同時出展します。本日公開の特設サイトや Instagram では、展示にまつわるコンテンツを定期的に発信します。東京展開催後は、富山での巡回展も予定しています。

また、本プロジェクトの国際発信に際し、スペインでガウディに関連する書籍を多く出版する Triangle Books 社とともに、ガウディの窓にフォーカスしたプロジェクト特別書籍「ガウディ：未来をひらく窓」を、英語、スペイン語、カタルーニャ語、日本語の 4 か国語で出版します。本書籍は、各ガウディ建築内にある売店や、スペインの大手書店、Triangle Books のオンラインショップ等で、日本国内では YKK AP 主催の展覧会や関連イベント開催時に販売します。

※1:「UNESUCO-UIA 世界建築首都」とは、ユネスコ（UNESCO）と国際建築家連合（UIA）が3年に1度共同で開催する、都市のアイデンティティと持続可能な都市開発の形成において、建築、都市計画、そして文化が果たす重要な役割を強調する国際イベント。指定都市は、現代の都市計画と建築課題に関する議論の最前線に立つ世界的なフォーラムの場となります。2026 年はスペイン・バルセロナが指定されました。

※2:国際建築家連合（UIA）が100 か国以上の各国建築家協会を統合し、3年に1度開催する世界最大規模の建築イベント。著名な建築家、研究者、技術者などが集まり、建築の未来について議論します。

※3:ガウディの最大のパトロン、エウセビ・グエルの自邸。現在はバルセロナ県議会が管理・運営し、一般公開されています。

※4:本編から抜粋されたダイジェスト映像です。本編は展示会場など一部に限ります。

※5:ガウディがリノベーションをした住宅建築。現在は文化観光拠点として一般公開されています。

参考情報

プロジェクト共通

- [特別協力] パラウ・グエル、カサ・バトリョ、カサ・ピセンス、カサ・ミラ、コロニア・グエル、グエル公園、ベリエスグアルド、エル・カプリチョ、カサ・ボティネス博物館
- [プロジェクトアドバイザー] ダニエル・ジラルト・ミラクラ
- [プロジェクトディレクター・総合キュレーター] 菊池 彩乃 (YKK AP 株式会社)
- [グラフィックデザイン (バルセロナ)] Todojuntó
- [グラフィックデザイン (東京)] emuni

■バルセロナ展 概要 (メイン展覧会)

- [展覧会名] Gaudí: Windows on the Future
- [会 期] 2026 年 4 月 21 日 (火) ~ 10 月 25 日 (日)
- [会 場] パラウ・グエル (グエル邸)
(Carrer Nou de la Rambla, 3-5, Barcelona, Spain)
- [観 覧 料] 無料 ※ただし、パラウ・グエル (グエル邸) の入館料が別途かかります。
- [主催・企画] YKK AP 株式会社、パラウ・グエルーバルセロナ県議会
- [施設サイト] <https://inici.palauoguell.cat/en/windows-on-the-future/>
- [同時出展] ガウディ・イヤー、UNESCO-UIA 世界建築首都、日本・カタルーニャ交流年

■東京展 概要 (サテライト展)

- [展覧会名] ガウディ：未来をひらく窓
- [会 期] 2026 年 5 月 16 日 (土) ~ 7 月 12 日 (日)
※休館日：5 月 26 日 (火)、6 月 23 日 (火)
- [会 場] 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー3
(東京都港区赤坂 9-7-6 東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン)
- [入 場 料] 無料
- [主催・企画] YKK AP 株式会社
- [施設サイト] https://www.2121designsight.jp/gallery3/gaudi_window
- [同時出展] 東京建築祭 2026、日本・カタルーニャ交流年

<両展覧会共通>

- [学術監修] 山村 健 (東京工芸大学 准教授)
- [空間デザイン] YSLA Architects

<公式プログラム>



■書籍概要

[書 名] ガウディ：未来をひらく窓（Gaudí: Windows on the Future）

[発行・編集] YKK AP 株式会社

[出版社名] Triangle Books

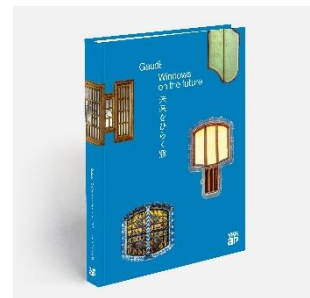
[言 語] 英語（巻末にスペイン語・カタルーニャ語・日本語の翻訳付）

[仕 様] ハードカバー、200 x 260 mm

[発 売 日] 2026 年 2 月

[販売ウェブサイト] <https://triangle.cat/en/producto/gaudi-windows-on-the-future/>

※日本国内では YKK AP 主催の展覧会、関連イベント開催時に販売。



<書籍紹介文>

アントニ・ガウディは、独自の建築思想や強い探究心、独創的な形態感覚と機構開発、芸術・技術に関する豊富な情報収集力に加え、多様な職人や協業者との連携、パトロンや施主による支援をその創作活動の追い風とし、既存の建築様式や技術、工法を超え、固定概念にとらわれることなく、多種多様な窓を設計し、建築における「総合」と「調和」の実現を目指しました。本書は、ガウディ没後 100 年を記念して、初期の作品からサグラダ・ファミリアにいたるガウディ建築の窓の数々を、美しい写真や資料、研究者・専門家らの論考とともに紹介し、創造的で革新的なガウディの窓を通して、建築の未来への思索をつなげます。

<著者名>

パウ・ゴンザレス（バルセロナ県議会 文化担当副議長）、レギーナ・ゴンチエ（国際建築家連合（UIA）会長）、吉田忠裕（YKK AP 株式会社 創業者）、ジョセップ・マリア・モンタネール（カタルーニャ工科大学 名誉教授）、山村健（東京工芸大学 准教授）、リカルド・ブル（バルセロナ自治大学 教授）、カルロス・ミラペイシャ（エル・カプリチオ館長）、ミレイア・バルナダス・イ・リバス（建築家）、ラケル・ラクエスタ（美術史家）、ジョルディ・ボネット（ステンドグラス修復家、Vitralls Bonet）、ヌリア・ジル（ステンドグラス研究者）、ガルドリック・サンタナ（カタルーニャ工科大学 教授・ガウディ・イヤー2026 総合キュレーター）、ミケル・バルセロ（アーティスト）、イグナシオ・パリシオ（カタルーニャ工科大学 名誉教授）、ヌリア・マルティ（ラモン・リウイ大学 教授）、ジョルディ・ファウリ（サグラダ・ファミリア主任建築家）、菊池彩乃（YKK AP 株式会社）

<別紙>

書籍「ガウディ：未来をひらく窓」に寄せた YKK AP 創業者 吉田忠裕の挨拶文

ガウディの窓と YKK AP

窓は、建築において様々な機能と役割を担い、内と外を繋ぐ関所であり、都市の景観や家の表情をつくります。歴史的にも、技術と生産、そして人々の生活の進歩に伴い、発展を続けてきました。近代以降、工業化社会と経済的合理性の追求に伴い、窓は規格化され、機能と性能の向上に焦点が当てられてきましたが、21 世紀の今、窓はさらに進化を続けています。

私たち YKK AP は、YKK グループの一員として、1959 年にファスナーと同素材・同技術を活用したアルミサッシの建材事業を開始し、現在は、樹脂窓や木窓、ビルのカーテンウォールの設計・施工まで、国内外で幅広く手掛けています。私たちは「善の巡環」（他人の利益を図らずして自らの繁栄はない）という YKK 精神を共有しながら、現在では「Architectural Products で社会を幸せにする会社。」というパーパスを策定し、「窓を考える会社」として、建材商品の開発や製造、販売に留まらず、建築文化に貢献するための多角的な研究・発信も行っています。

窓に関する知見は長らく、体系的にまとめられていませんでした。そこで私は、1995 年にスイス連邦工科大学のヴィットリオ・マニャーゴ・ランブニャーニ先生とともに、世界中の特徴的な窓をもつ建築や開口部の実例を紹介する書籍『The Architecture of the Window』を発行いたしました。それから約 30 年間にわたり、YKK AP は「窓は文明であり、文化である」という思想のもと、窓の物質的・技術的、精神的・社会的な価値を探究し、様々な取り組みを行ってまいりました。窓を多角的に探究する研究活動「窓学」の普及や、窓研究所の設立と公益財団化、国内外での多彩な展覧会・講演会の実施、出版物の発行、協賛活動などがその成果の一部です。

私たちは、これまでに窓に関する幅広い研究を行ってきましたが、アントニ・ガウディほど多様な窓を生み出した建築家はいないように思います。近代工業化の波が押し寄せる 19 世紀後半から 20 世紀初頭のスペイン・カタルーニャにおいて、モデルニスモ建築を牽引する存在であったガウディが生み出した建築の開口部の数々は、非常に多彩です。構造、素材、デザインの細部まで、初期から晩年に至るまで技術や意匠の進化が見られ、現代から見ても発見の連続です。彼のあくなき自己変革の姿勢と果てなき創造の探求は、後世の建築家やデザイナーのインスピレーションの源となっています。

YKK AP はこれまでガウディの開口部に関する多角的な知見の収集と発信を継続的に行ってまいりました。今回「ガウディ没後 100 年」、「UNESCO-UIA 世界建築首都バルセロナ」、「UIA 世界建築家会議」の記念の年となる 2026 年に合わせて、世界遺産を含むアントニ・ガウディの建築群とのコラボレーションのもと、展示や出版、教育普及を通して、国際的な建築文化に貢献するための包括的なプロジェクトとして、ガウディの開口部に関する研究成果を発信いたします。

本書の目的は、創造的で革新的なガウディの窓を通して、建築の未来を垣間見ることです。ガウディの窓をテーマに、著名な建築学者、建築家、美術史家、美術批評家、アーティスト、ガウディ建築の建設の当事者に、それぞれのご専門の視点からご寄稿いただきました。本プロジェクトにご参加いただいた関係各位に心より感謝申し上げます。

